

足立区地域防災計画
震災資料編

第1 足立区の危険度

平成30年2月 東京都都市整備局
地震に関する地域危険度測定調査（第8回）より

地震に関する地域危険度測定の沿革

東京都では、東京都震災対策条例（当時は震災予防条例）に基づき、昭和50年11月に第1回（区部）の地域危険度を公表しました。その後、市街地の変化を表わす建物などの最新データや新たな知見を取入れ、概ね5年ごとに調査を行っており、今回は第8回目の公表です。

今回の測定調査では、都内の市街化区域の5,177町丁目について、各地域における地震に関する危険性を、建物倒壊危険度、火災危険度に加えて、前回から測定を始めた災害時活動困難度を加味し、総合危険度を測定しました。調査を進めるに当たり、防災分野の専門家などで構成する「地域危険度測定調査委員会」を設置し、より精度の高い新たな測定方法に改善を図るなど、検討してきました。

1 あなたの住んでいるまちは大丈夫？

（1）地震によるまちなりの危険性を測定します

日本は、地震の発生が世界の約1割を占める世界有数の地震国です。

南関東におけるマグニチュード7程度の大地震の発生確率は、今後30年以内に70%程度とされています。

大きな地震が起こった際、あなたのまちにはどのような危険があるのでしょうか？

地震が起こると、揺れによる建物の倒壊や火災の発生による延焼が大きな被害を引き起こす可能性があります。

本調査では、お住まいの町丁目ごとに、地震による危険性（地域危険度）を測定しました。

（2）地域危険度はこのように活用できます

災害に強い都市づくりを進めるためには、道路や公園などの整備や建物の不燃化などの防災都市づくりを行うとともに、都民一人ひとりが日頃から十分な備えと対策を講じることが重要です。

地域危険度は、防災都市づくりを進める地域の選定に利用するとともに、都民の皆さんがそれぞれのまちで地震への備えを進めるためにご活用ください。

2 地域危険度とは

本調査では、以下の危険性を町丁目ごとに測定しています。

●建物倒壊危険度 （建物倒壊の危険性）

- 火災危険度 (火災の発生による延焼の危険性)
- 総合危険度 (建物倒壊危険度と火災危険度に災害時活動困難度を加味して総合化したもの)

なお、地域危険度はそれぞれの危険度について、町丁目ごとの危険性の度合いを5つのランクに分けて、相対的に評価しています。

(1) どのような地震を想定しているのか

地震はいつ、どこで起きるか分かりません。そこで本調査では、特定の地震を想定するのではなく、全ての地域において、地震の強さなどを同じ条件で設定し危険性を測定しています。

(2) どのように地域の危険性を測るのか

本調査では、木造、鉄筋コンクリート造などの建物構造、建築年代、階数などの種別ごとの棟数、建物用途ごとの火気器具や電熱器具の使用状況、道路や公園の整備状況などのデータをもとに、科学的に地震による危険性を測定しています。

原則として、区部及び多摩地域の市街化区域を対象に、町丁目を単位として測定しています。

3 地震の揺れによる建物の倒壊 ～建物倒壊危険度～

地震の揺れによって建物が壊れたり傾いたりする危険性の度合いを測定したものが「建物倒壊危険度」です。

建物倒壊危険度は、地域の建物特性と地盤特性により測定しています。

(1) 地盤特性

東京の地盤は、山地・丘陵地、山の手の台地と、下町の沖積低地、そして台地を刻む谷からできている谷底低地に分類されます。

沖積低地や谷底低地は、地震が起きた場合に揺れが増幅されやすいため、比較的被害が発生しやすい地域です。

(2) 建物特性

建物については、木造、鉄筋コンクリート造などの構造、建築年代、階数別などに分類し、棟数を集計しています。

建物倒壊の危険性は、建物の耐震性が低いほど、建築年代が古いほど、高くなります。

(3) 建物倒壊危険度の測定方法

特性ごとに集計した建物量に地盤特性ごとの建物が壊れる割合を掛け合わせることで測定しています。

建物が壊れる割合は、阪神・淡路大震災などの過去の地震被害の調査事例などをもとに、地盤状況や建物種別ごとに設定しました。

また、沖積低地での地盤の液状化や丘陵地での大規模な造成地の影響も考慮しました。

(4) 建物倒壊危険度の測定結果

危険度の高い地域は、沖積低地や谷底低地に分類される地盤上にあり、古い木造

や軽量鉄骨造の建物が密集している荒川・隅田川沿いのいわゆる下町地域一帯に分布しています。具体的には、足立区南部から荒川区、台東区東部、葛飾区西部、墨田区、江東区北部、江戸川区北西部に広がる地域で危険度が高くなっています。

一方、多摩地域は、区部に比べると危険度が低くなっています。

4 地震の揺れによる火災の発生と延焼 ～火災危険度～

地震が起こると、地震の揺れで発生した火災の延焼により、広い地域で被害を受ける危険性があります。

その危険性の度合いを測定したものが「火災危険度」です。

(1) 出火の危険性

世帯や用途別の事業所の分布状況、火気器具等の使用状況や出火率、地盤の揺れやすさなどから測定したものです。火気器具等の保有数や世帯数が多い地域では、危険性が高く、また、地盤が揺れやすい地域では更に危険性が高くなります。

(2) 延焼の危険性

延焼の危険性は、建物の構造や建物の間隔などから測定しています。

広幅員道路や公園等の空地が少なく、木造建物などが密集している地域では危険性が高く、また、周辺にも同様の特徴を有する地域があり遮断する道路等が形成されていない場合には、さらに危険性が高くなります。

(3) 火災危険度の測定方法

火災危険度は、出火の危険性と延焼の危険性を掛け合わせることで測定しています。

また、周辺町丁目からの延焼の危険性も足し合わせて測定しています。延焼の危険性は、建物の構造や建物の間隔などから測定しています。

(4) 火災危険度の測定結果

危険度の高い地域は、木造建物が密集している地域に多く、区部の環状7号線沿いにドーナツ状に分布するとともに、JR中央線沿線（区部）にも分布しています。具体的には、江東区北部から墨田区北部、葛飾区西部、足立区南部、荒川区、北区、台東区東部に広がる地域で、また品川区南西部、大田区、杉並区西部から中野区東部に広がる地域でも危険性が高くなっています。

5 道路の整備状況による災害時の活動の困難さ ～災害時活動困難度～

地震により建物が倒壊したり火災が発生したときには、危険地域からの避難や消火・救助活動のしやすさ（困難さ）が、その後の被害の大きさに影響します。このような活動のしやすさ（困難さ）を、地域の道路の多さや、道路ネットワーク密度の高さといった道路基盤などの整備状況から評価した指標が「災害時活動困難度」です。

(1) 活動有効空間不足率

避難や、消火・救助・救援など災害活動に有効な空間の、町丁目面積に対する不

足率を表す指標です。災害活動に有効な空間が不足するほど、災害時活動困難度は高くなります。

(2) 道路ネットワーク密度不足率

避難や、消火・救助・救援など災害活動のために広幅員道路と被災地をつなぐ、地域レベルの道路ネットワークの不足率を表す指標です。災害活動に有効な地域レベルの道路ネットワークが不足するほど、災害時活動困難度は高くなります。

(3) 災害時活動困難度の測定方法

災害時活動困難度は活動有効空間不足率と道路ネットワーク密度不足率を掛け合わせた数値を算出し、その値を町丁目ごとに順位付けした相対評価により、測定しています。

(4) 災害時活動困難度の測定結果

災害時困難度が高い地域は、地域レベルの道路基盤などが少ない地域で、多摩地域や区部西部などに分布しています。一方、地域レベルの道路基盤が多い都心部や区部東部は困難度が低い地域です。

6 まちの総合的な危険度 ～総合危険度～

皆さんのまちの地震の危険性を分かりやすく示すために、地震の揺れによる建物倒壊や火災の危険性に、避難や消火・救助など、各種の災害対応活動の困難さを加味して一つの指標にまとめたものが「総合危険度」です。

災害時の避難や消火・救助活動などを支援する空間として、道路が重要な役割を果たすという視点から、防災都市づくりや道路整備の指標となるとともに、都民がまちの地震災害への対応のしやすさ（困難さ）を考え、地震に対する備えに活用されることを想定しています。

(1) 総合危険度の測定方法

総合危険度は、町丁目ごとに、地震の揺れによる建物の倒壊や火災の危険性の度合いに、避難や消火・救助など、各種の災害対応活動の困難さを掛け合わせた数値を合算し、その数値に基づき順位付けを行い、評価しました。

(2) 総合危険度の測定結果

総合危険度の高い地域は、荒川・隅田川沿いのいわゆる下町地域一帯に加え、品川区南西部や大田区、中野区、杉並区東部に広がっています。

具体的には、足立区南部から荒川区、葛飾区西部、墨田区北部、江東区北部に広がる地域で、また、品川区南西部や大田区中央部、北区北部、豊島区北部、中野区、杉並区東部においても、危険度の高い地域が分布しています。

7 災害に強い都市を目指して

危険度の高い地域では、建物の建替えによる耐震性の向上や不燃化を図るとともに、延焼を遮断する広幅員道路や、災害発生時の避難や消火・救助活動を支える地域レベルの道路、公園の整備を進めるなど、周辺町丁目も含めて、

様々な震災対策を重層的、総合的に進めていく必要があります。また、いつ起こるかも知れない地震に対しては日頃からのまちづくりや対策と備えが重要です。

東京都では、地域危険度の測定調査結果を、建物の不燃化などを進める木造住宅密集地域整備事業や延焼遮断帯となる沿道一体整備事業など、防災都市づくりに係る施策を展開する地域（整備地域）の選定や、震災時火災における避難場所の指定に活用しています。また、建築物の不燃化を促進するために知事が指定する区域（新たな防火規制区域）の地域要件としても定めています。

足立区の危険度一覧

町丁目名	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難度			総合危険度		
	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	困難度	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
青井 1 丁目	6.52	554	3	0.88	1069	3	0.15	1605	2	1.08	500	3
青井 2 丁目	8.60	310	4	6.69	160	4	0.18	1079	3	2.74	128	4
青井 3 丁目	4.51	948	3	0.78	1169	3	0.11	2347	2	0.60	969	3
青井 4 丁目	5.56	720	3	0.82	1130	3	0.13	1946	2	0.83	676	3
青井 5 丁目	3.44	1304	2	0.15	2604	2	0.08	3078	1	0.29	1885	2
青井 6 丁目	6.64	538	3	1.95	573	3	0.14	1700	2	1.21	424	3
足立 1 丁目	10.59	179	4	5.35	214	4	0.09	2801	2	1.48	340	4
足立 2 丁目	8.18	362	4	5.85	194	4	0.18	1091	3	2.50	152	4
足立 3 丁目	8.11	366	4	2.51	474	3	0.16	1310	2	1.74	267	4
足立 4 丁目	11.21	151	4	3.21	387	3	0.12	2223	2	1.70	274	4
綾瀬 1 丁目	6.33	575	3	1.82	611	3	0.07	3267	1	0.59	982	3
綾瀬 2 丁目	5.84	666	3	0.39	1737	2	0.09	2936	1	0.54	1091	3
綾瀬 3 丁目	2.76	1633	2	0.07	3236	1	0.06	3541	1	0.17	2618	2
綾瀬 4 丁目	4.34	997	3	0.68	1280	2	0.08	3027	1	0.41	1396	2
綾瀬 5 丁目	6.72	526	3	0.41	1687	2	0.06	3456	1	0.46	1260	2
綾瀬 6 丁目	4.50	949	3	0.18	2443	2	0.08	3040	1	0.38	1504	2
綾瀬 7 丁目	3.96	1113	3	0.13	2752	2	0.09	2749	2	0.39	1475	2
入谷町	0.00	5166	1	0.00	5134	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
梅島 1 丁目	8.26	352	4	0.73	1237	2	0.07	3251	1	0.66	870	3
梅島 2 丁目	7.61	424	3	0.76	1190	3	0.13	1958	2	1.09	495	3
梅島 3 丁目	8.95	284	4	3.00	402	3	0.15	1589	2	1.76	262	4
梅田 1 丁目	7.77	407	3	1.65	665	3	0.08	2981	1	0.80	706	3
梅田 2 丁目	11.83	120	4	6.44	170	4	0.12	2214	2	2.16	199	4
梅田 3 丁目	8.91	288	4	7.79	127	4	0.20	764	3	3.38	92	4
梅田 4 丁目	9.24	263	4	4.41	270	4	0.16	1442	2	2.13	203	4
梅田 5 丁目	9.42	248	4	8.36	111	4	0.15	1601	2	2.60	141	4
梅田 6 丁目	8.20	359	4	4.66	259	4	0.12	2078	2	1.60	297	4
梅田 7 丁目	7.24	459	3	2.24	521	3	0.10	2704	2	0.92	604	3
梅田 8 丁目	4.19	1041	3	1.08	921	3	0.19	913	3	1.01	536	3
扇 1 丁目	5.72	686	3	1.45	750	3	0.24	438	3	1.71	270	4
扇 2 丁目	2.94	1530	2	0.28	2012	2	0.13	1840	2	0.43	1324	2
扇 3 丁目	4.07	1071	3	0.17	2509	2	0.15	1469	2	0.65	876	3
大谷田 1 丁目	5.37	758	3	0.60	1381	2	0.16	1411	2	0.94	586	3
大谷田 2 丁目	3.11	1439	2	0.14	2693	2	0.12	2270	2	0.38	1523	2
大谷田 3 丁目	5.44	749	3	0.31	1914	2	0.07	3302	1	0.41	1408	2
大谷田 4 丁目	3.58	1241	2	0.13	2746	2	0.09	2799	2	0.34	1643	2
大谷田 5 丁目	5.00	840	3	0.25	2127	2	0.08	3191	1	0.40	1445	2
興野 1 丁目	11.99	114	4	8.63	105	4	0.17	1225	2	3.48	88	4
興野 2 丁目	9.11	272	4	5.67	199	4	0.28	250	4	4.08	62	5
小台 1 丁目	1.66	2696	2	0.04	3787	1	0.12	2118	2	0.21	2340	2
小台 2 丁目	8.44	331	4	3.63	338	4	0.12	2222	2	1.42	357	4
加賀 1 丁目	6.09	619	3	0.58	1421	2	0.04	3887	1	0.29	1874	2
加賀 2 丁目	3.11	1437	2	0.13	2758	2	0.05	3649	1	0.18	2547	2
加平 1 丁目	3.93	1122	3	0.11	2878	1	0.06	3622	1	0.23	2224	2
加平 2 丁目	2.55	1764	2	0.13	2755	2	0.03	4190	1	0.08	3514	1
加平 3 丁目	2.92	1542	2	0.09	3073	1	0.06	3561	1	0.18	2546	2
北加平町	5.73	684	3	0.61	1368	2	0.19	886	3	1.23	419	3
栗原 1 丁目	7.03	490	3	1.23	838	3	0.11	2482	2	0.89	626	3
栗原 2 丁目	4.26	1015	3	0.66	1298	2	0.03	4104	1	0.16	2671	2
栗原 3 丁目	6.22	595	3	0.69	1272	2	0.09	2860	1	0.62	927	3
栗原 4 丁目	3.17	1424	2	0.09	3092	1	0.05	3721	1	0.17	2639	2
弘道 1 丁目	6.73	523	3	0.72	1243	2	0.24	425	3	1.79	255	4
弘道 2 丁目	4.21	1030	3	0.39	1724	2	0.15	1594	2	0.68	841	3
江北 1 丁目	3.36	1338	2	0.19	2386	2	0.09	2839	2	0.32	1725	2
江北 2 丁目	7.98	378	3	3.48	352	4	0.12	2171	2	1.38	363	4
江北 3 丁目	6.86	503	3	2.20	530	3	0.11	2481	2	0.97	568	3
江北 4 丁目	4.46	966	3	0.81	1135	3	0.09	2887	1	0.47	1231	2
江北 5 丁目	1.00	3779	1	0.02	4075	1	0.15	1553	2	0.15	2780	2
江北 6 丁目	1.68	2670	2	0.02	3993	1	0.03	4093	1	0.06	3776	1
江北 7 丁目	3.57	1245	2	0.25	2114	2	0.05	3814	1	0.18	2527	2

町丁目名	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難度			総合危険度		
	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	困難度	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
古千谷 1 丁目	0.06	5060	1	0.00	4908	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
古千谷 2 丁目	0.35	4612	1	0.00	4893	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
佐野 1 丁目	3.73	1189	3	0.59	1407	2	0.20	775	3	0.87	641	3
佐野 2 丁目	6.00	637	3	0.55	1466	2	0.08	2975	1	0.56	1049	3
血沼 1 丁目	5.50	735	3	0.27	2055	2	0.04	3943	1	0.24	2153	2
血沼 2 丁目	2.91	1557	2	0.10	2952	1	0.01	4666	1	0.03	4217	1
血沼 3 丁目	3.85	1144	3	0.11	2851	1	0.02	4441	1	0.07	3552	1
鹿浜 1 丁目	3.19	1414	2	0.07	3232	1	0.10	2738	2	0.31	1763	2
鹿浜 2 丁目	3.28	1376	2	0.20	2349	2	0.04	4033	1	0.13	3005	1
鹿浜 3 丁目	5.08	825	3	0.24	2176	2	0.03	4133	1	0.17	2615	2
鹿浜 4 丁目	7.27	455	3	0.75	1209	2	0.03	4278	1	0.20	2389	2
鹿浜 5 丁目	2.65	1707	2	0.12	2834	2	0.04	3948	1	0.11	3155	1
鹿浜 6 丁目	5.21	796	3	0.59	1398	2	0.03	4261	1	0.15	2807	2
鹿浜 7 丁目	4.17	1045	3	0.26	2097	2	0.02	4392	1	0.09	3388	1
鹿浜 8 丁目	4.61	924	3	0.19	2407	2	0.02	4377	1	0.10	3277	1
島根 1 丁目	7.23	464	3	1.48	734	3	0.12	2184	2	1.04	517	3
島根 2 丁目	5.18	806	3	1.15	879	3	0.09	2955	1	0.54	1081	3
島根 3 丁目	5.81	671	3	0.65	1320	2	0.07	3324	1	0.45	1276	2
島根 4 丁目	3.98	1108	3	0.38	1757	2	0.10	2689	2	0.43	1346	2
新田 1 丁目	4.23	1024	3	0.33	1878	2	0.04	3916	1	0.19	2443	2
新田 2 丁目	6.04	628	3	0.57	1445	2	0.04	3876	1	0.29	1868	2
新田 3 丁目	4.64	915	3	0.42	1667	2	0.07	3411	1	0.33	1688	2
神明 1 丁目	3.84	1148	3	0.22	2272	2	0.10	2683	2	0.40	1426	2
神明 2 丁目	5.65	701	3	1.77	626	3	0.09	2960	1	0.63	899	3
神明 3 丁目	5.21	798	3	0.89	1056	3	0.18	1038	3	1.11	474	3
神明南 1 丁目	6.63	539	3	2.44	485	3	0.16	1383	2	1.44	349	4
神明南 2 丁目	7.39	442	3	2.69	444	3	0.15	1470	2	1.55	311	4
関原 1 丁目	10.08	214	4	6.85	155	4	0.14	1654	2	2.44	157	4
関原 2 丁目	15.31	35	5	18.13	28	5	0.19	901	3	6.43	20	5
関原 3 丁目	13.82	61	5	14.17	45	5	0.22	606	3	6.09	24	5
千住 1 丁目	8.55	315	4	1.15	882	3	0.10	2572	2	1.00	541	3
千住 2 丁目	10.22	206	4	1.24	832	3	0.07	3309	1	0.81	696	3
千住 3 丁目	12.23	105	4	2.48	482	3	0.17	1236	2	2.47	154	4
千住 4 丁目	19.71	9	5	11.77	57	5	0.15	1568	2	4.67	46	5
千住 5 丁目	10.24	205	4	4.72	252	4	0.13	1948	2	1.94	230	4
千住 曙町	4.40	984	3	0.35	1815	2	0.09	2787	2	0.44	1295	2
千住 旭町	10.33	200	4	4.12	297	4	0.10	2628	2	1.46	344	4
千住 大川町	17.04	20	5	41.68	4	5	0.21	682	3	12.36	4	5
千住 河原町	10.73	168	4	1.36	791	3	0.09	2901	1	1.06	510	3
千住 寿町	19.56	10	5	26.34	19	5	0.12	2112	2	5.63	30	5
千住 関屋町	1.60	2771	2	0.02	4187	1	0.04	3914	1	0.07	3626	1
千住 龍田町	16.52	22	5	22.47	21	5	0.18	1103	3	6.91	17	5
千住 中居町	11.50	138	4	6.95	152	4	0.10	2672	2	1.83	246	4
千住 仲町	11.67	125	4	12.61	52	5	0.14	1669	2	3.47	89	4
千住 橋戸町	2.95	1526	2	0.23	2213	2	0.10	2712	2	0.31	1779	2
千住 宮元町	9.40	251	4	4.81	246	4	0.10	2647	2	1.43	353	4
千住 元町	12.76	85	5	33.86	7	5	0.20	855	3	9.13	10	5
千住 柳町	21.37	5	5	55.83	1	5	0.20	782	3	15.54	2	5
千住東 1 丁目	9.95	221	4	8.19	115	4	0.11	2500	2	1.93	233	4
千住東 2 丁目	10.38	195	4	2.81	423	3	0.12	2243	2	1.54	312	4
千住桜木 1 丁目	2.58	1749	2	0.05	3463	1	0.04	4071	1	0.09	3366	1
千住桜木 2 丁目	3.55	1256	2	0.20	2362	2	0.11	2317	2	0.43	1354	2
千住緑町 1 丁目	1.43	3064	1	0.04	3781	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
千住緑町 2 丁目	11.33	144	4	1.92	579	3	0.05	3775	1	0.65	875	3
千住緑町 3 丁目	11.11	154	4	1.85	601	3	0.00	4772	1	0.00	4767	1
竹の塚 1 丁目	3.36	1339	2	0.08	3148	1	0.05	3764	1	0.17	2609	2
竹の塚 2 丁目	4.01	1095	3	0.19	2409	2	0.04	4036	1	0.15	2759	2
竹の塚 3 丁目	3.31	1355	2	0.18	2454	2	0.04	3903	1	0.15	2806	2
竹の塚 4 丁目	1.97	2295	2	0.03	3926	1	0.02	4420	1	0.04	4018	1
竹の塚 5 丁目	4.22	1028	3	0.17	2499	2	0.03	4204	1	0.13	3032	1

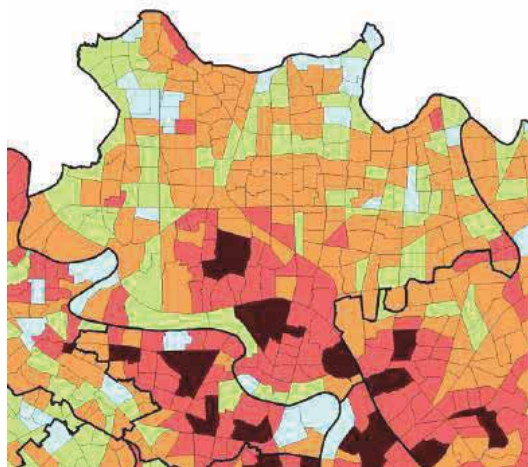
町丁目名	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難度			総合危険度		
	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	困難度	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
竹の塚6丁目	2.42	1864	2	0.05	3493	1	0.05	3745	1	0.13	3038	1
竹の塚7丁目	3.47	1287	2	0.31	1923	2	0.10	2554	2	0.39	1448	2
辰沼1丁目	3.36	1340	2	0.17	2508	2	0.06	3623	1	0.20	2421	2
辰沼2丁目	6.82	509	3	0.74	1225	2	0.12	2242	2	0.88	630	3
中央本町1丁目	2.49	1814	2	0.07	3301	1	0.12	2267	2	0.30	1836	2
中央本町2丁目	5.32	772	3	0.31	1945	2	0.19	903	3	1.08	498	3
中央本町3丁目	4.56	938	3	0.23	2245	2	0.18	1008	3	0.88	633	3
中央本町4丁目	5.79	675	3	1.06	933	3	0.15	1455	2	1.06	511	3
中央本町5丁目	6.64	537	3	1.49	732	3	0.13	2012	2	1.03	521	3
椿1丁目	3.20	1409	2	0.05	3485	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
椿2丁目	8.54	317	4	0.90	1053	3	0.02	4485	1	0.16	2714	2
東和1丁目	5.90	653	3	0.93	1033	3	0.11	2339	2	0.77	731	3
東和2丁目	7.82	403	3	0.93	1031	3	0.08	3058	1	0.70	799	3
東和3丁目	5.88	658	3	0.78	1164	3	0.09	2820	2	0.61	944	3
東和4丁目	7.70	417	3	1.37	787	3	0.06	3575	1	0.53	1104	3
東和5丁目	6.82	510	3	0.55	1467	2	0.09	2882	1	0.65	873	3
舎人1丁目	4.62	923	3	0.36	1808	2	0.05	3787	1	0.24	2114	2
舎人2丁目	6.29	585	3	0.89	1064	3	0.06	3598	1	0.41	1403	2
舎人3丁目	8.44	330	4	1.05	939	3	0.04	3947	1	0.39	1488	2
舎人4丁目	5.37	760	3	0.81	1144	3	0.11	2496	2	0.66	863	3
舎人5丁目	6.74	521	3	0.97	992	3	0.04	4017	1	0.29	1875	2
舎人6丁目	1.53	2897	1	0.04	3800	1	0.06	3620	1	0.09	3416	1
舎人町	0.00	5166	1	0.00	5134	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
中川1丁目	7.15	474	3	0.89	1065	3	0.20	783	3	1.62	294	4
中川2丁目	11.25	148	4	9.03	100	4	0.30	186	4	5.99	27	5
中川3丁目	12.04	112	4	12.74	51	5	0.13	1850	2	3.33	94	4
中川4丁目	5.46	746	3	0.37	1774	2	0.09	2763	2	0.55	1066	3
中川5丁目	2.49	1808	2	0.09	3053	1	0.07	3214	1	0.19	2447	2
西綾瀬1丁目	6.07	623	3	0.52	1532	2	0.18	1115	3	1.16	451	3
西綾瀬2丁目	7.13	478	3	0.97	994	3	0.23	492	3	1.87	238	4
西綾瀬3丁目	5.52	732	3	0.87	1081	3	0.20	785	3	1.28	394	3
西綾瀬4丁目	3.43	1308	2	0.22	2292	2	0.15	1558	2	0.54	1080	3
西新井1丁目	5.86	661	3	0.36	1806	2	0.07	3199	1	0.47	1229	2
西新井2丁目	5.44	748	3	0.32	1902	2	0.04	4029	1	0.21	2313	2
西新井3丁目	3.33	1347	2	0.14	2666	2	0.05	3738	1	0.18	2560	2
西新井4丁目	5.69	694	3	0.10	2977	1	0.03	4080	1	0.20	2390	2
西新井5丁目	6.09	618	3	0.25	2133	2	0.04	3962	1	0.25	2054	2
西新井6丁目	6.31	581	3	1.39	774	3	0.13	2018	2	0.98	561	3
西新井7丁目	2.65	1709	2	0.08	3190	1	0.02	4462	1	0.05	3884	1
西新井栄町1丁目	5.59	716	3	4.56	264	4	0.23	528	3	2.29	178	4
西新井栄町2丁目	7.50	433	3	0.96	1002	3	0.10	2671	2	0.84	667	3
西新井栄町3丁目	12.02	113	4	7.98	118	4	0.15	1511	2	3.04	111	4
西新井本町1丁目	11.62	130	4	9.63	87	4	0.26	335	4	5.43	34	5
西新井本町2丁目	3.51	1272	2	0.20	2379	2	0.08	3086	1	0.29	1849	2
西新井本町3丁目	9.32	256	4	5.49	206	4	0.22	577	3	3.26	97	4
西新井本町4丁目	7.93	385	3	7.33	139	4	0.20	759	3	3.09	107	4
西新井本町5丁目	9.04	278	4	1.66	664	3	0.11	2400	2	1.19	441	3
西伊興町	0.00	5166	1	0.00	5134	1	0.10	2698	2	0.00	4767	1
西加平1丁目	0.31	4660	1	0.03	3907	1	0.11	2355	2	0.04	4034	1
西加平2丁目	3.98	1107	3	0.10	3004	1	0.14	1670	2	0.58	1001	3
西保木間1丁目	6.16	610	3	0.98	980	3	0.14	1733	2	1.00	548	3
西保木間2丁目	3.00	1492	2	0.10	2919	1	0.09	2905	1	0.27	1955	2
西保木間3丁目	1.99	2276	2	0.04	3659	1	0.04	3966	1	0.08	3488	1
西保木間4丁目	1.02	3750	1	0.04	3793	1	0.07	3227	1	0.08	3519	1
花畑1丁目	3.45	1294	2	0.11	2892	1	0.07	3285	1	0.25	2052	2
花畑2丁目	1.17	3485	1	0.07	3255	1	0.07	3257	1	0.09	3392	1
花畑3丁目	4.28	1010	3	0.23	2252	2	0.05	3827	1	0.21	2324	2
花畑4丁目	4.27	1013	3	0.13	2733	2	0.06	3533	1	0.27	1981	2
花畑5丁目	1.27	3333	1	0.03	3831	1	0.10	2680	2	0.13	2989	1
花畑6丁目	1.30	3291	1	0.06	3414	1	0.19	947	3	0.26	2043	2

町丁目名	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難度			総合危険度		
	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	困難度	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
花畑 7 丁目	3.50	1277	2	0.15	2596	2	0.21	650	3	0.78	720	3
花畑 8 丁目	0.56	4359	1	0.01	4587	1	0.36	62	5	0.21	2358	2
東綾瀬 1 丁目	3.61	1230	2	0.12	2801	2	0.06	3552	1	0.22	2254	2
東綾瀬 2 丁目	2.87	1581	2	0.05	3536	1	0.11	2527	2	0.31	1786	2
東綾瀬 3 丁目	2.98	1502	2	0.12	2798	2	0.07	3403	1	0.20	2365	2
東保木間 1 丁目	3.05	1478	2	0.19	2401	2	0.07	3401	1	0.21	2305	2
東保木間 2 丁目	3.40	1318	2	0.17	2483	2	0.10	2741	2	0.34	1649	2
東六月町	4.85	872	3	0.41	1694	2	0.13	1869	2	0.70	800	3
一ツ家 1 丁目	4.88	864	3	0.44	1638	2	0.04	4025	1	0.20	2412	2
一ツ家 2 丁目	4.16	1048	3	0.20	2342	2	0.05	3824	1	0.20	2369	2
一ツ家 3 丁目	3.44	1298	2	0.15	2648	2	0.04	3987	1	0.14	2893	1
一ツ家 4 丁目	2.79	1618	2	0.13	2783	2	0.12	2135	2	0.36	1608	2
日ノ出町	10.66	173	4	9.58	88	4	0.19	962	3	3.79	74	5
平野 1 丁目	4.87	865	3	0.49	1557	2	0.11	2454	2	0.58	1002	3
平野 2 丁目	4.46	964	3	0.20	2334	2	0.12	2114	2	0.57	1020	3
平野 3 丁目	5.26	781	3	0.98	985	3	0.13	1864	2	0.83	673	3
保木間 1 丁目	2.91	1552	2	0.12	2844	1	0.04	4001	1	0.12	3126	1
保木間 2 丁目	3.76	1183	3	0.24	2175	2	0.05	3665	1	0.22	2293	2
保木間 3 丁目	4.47	959	3	0.27	2064	2	0.06	3572	1	0.28	1927	2
保木間 4 丁目	4.16	1049	3	0.12	2788	2	0.06	3490	1	0.27	1977	2
保木間 5 丁目	4.40	982	3	0.40	1699	2	0.09	2961	1	0.41	1398	2
保塚町	7.17	471	3	1.41	768	3	0.11	2349	2	0.97	570	3
堀之内 1 丁目	2.77	1629	2	0.08	3212	1	0.08	3068	1	0.23	2216	2
堀之内 2 丁目	3.60	1232	2	0.10	2958	1	0.02	4435	1	0.07	3609	1
南花畑 1 丁目	5.90	651	3	0.62	1361	2	0.12	2068	2	0.81	687	3
南花畑 2 丁目	5.17	810	3	0.38	1746	2	0.04	3888	1	0.24	2124	2
南花畑 3 丁目	6.20	599	3	0.57	1441	2	0.09	2888	1	0.60	966	3
南花畑 4 丁目	3.39	1326	2	0.12	2806	2	0.05	3782	1	0.17	2606	2
南花畑 5 丁目	1.42	3099	1	0.02	4205	1	0.08	3108	1	0.11	3151	1
宮城 1 丁目	5.19	801	3	0.51	1541	2	0.08	3037	1	0.47	1235	2
宮城 2 丁目	1.54	2889	1	0.02	4252	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
六木 1 丁目	3.53	1262	2	0.36	1793	2	0.11	2472	2	0.42	1373	2
六木 2 丁目	1.21	3435	1	0.25	2156	2	0.14	1821	2	0.20	2416	2
六木 3 丁目	3.33	1351	2	0.14	2698	2	0.11	2380	2	0.39	1482	2
六木 4 丁目	8.06	370	4	4.04	303	4	0.07	3319	1	0.85	664	3
本木 1 丁目	8.92	286	4	3.40	364	4	0.14	1756	2	1.71	271	4
本木 2 丁目	13.10	71	5	7.97	119	4	0.18	1082	3	3.76	75	5
本木 北町	10.65	174	4	10.35	80	5	0.28	231	4	5.89	28	5
本木 西町	8.68	304	4	4.86	244	4	0.30	171	4	4.06	63	5
本木 東町	14.79	47	5	14.24	43	5	0.17	1265	2	4.82	43	5
本木 南町	12.22	106	4	8.24	113	4	0.13	2005	2	2.61	140	4
谷在家 1 丁目	4.06	1078	3	0.15	2592	2	0.03	4142	1	0.13	2963	1
谷在家 2 丁目	2.55	1763	2	0.10	3000	1	0.02	4494	1	0.04	3949	1
谷在家 3 丁目	3.64	1216	2	0.27	2071	2	0.03	4117	1	0.13	3012	1
谷中 1 丁目	4.59	930	3	0.16	2557	2	0.06	3460	1	0.30	1804	2
谷中 2 丁目	1.92	2340	2	0.02	3999	1	0.08	3098	1	0.15	2770	2
谷中 3 丁目	3.65	1211	2	0.12	2845	1	0.15	1461	2	0.58	1004	3
谷中 4 丁目	1.36	3185	1	0.02	4201	1	0.22	602	3	0.30	1814	2
谷中 5 丁目	2.97	1511	2	0.13	2781	2	0.14	1720	2	0.44	1320	2
柳原 1 丁目	14.21	55	5	10.37	79	5	0.12	2200	2	2.92	116	4
柳原 2 丁目	22.12	4	5	29.44	12	5	0.18	1129	3	9.05	11	5

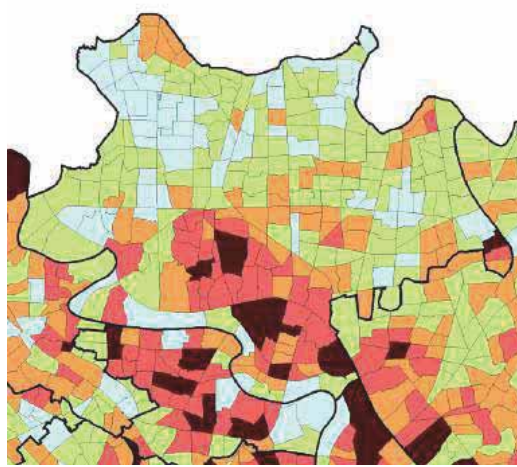
町丁目名	建物倒壊危険度			火災危険度			災害時活動困難度			総合危険度		
	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク	困難度	順位	ランク	危険量 (棟/ha)	順位	ランク
六月 1 丁目	4.31	1005	3	0.42	1671	2	0.10	2744	2	0.45	1282	2
六月 2 丁目	4.65	911	3	0.53	1512	2	0.09	2956	1	0.44	1292	2
六月 3 丁目	5.68	697	3	0.46	1630	2	0.04	4020	1	0.23	2202	2
六町 1 丁目	5.22	793	3	0.36	1803	2	0.16	1449	2	0.86	651	3
六町 2 丁目	5.00	841	3	0.50	1545	2	0.17	1179	3	0.95	580	3
六町 3 丁目	3.96	1114	3	1.30	809	3	0.14	1716	2	0.74	758	3
六町 4 丁目	2.41	1871	2	0.13	2750	2	0.17	1208	2	0.43	1335	2
入谷 1 丁目	1.94	2323	2	0.08	3157	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
入谷 2 丁目	2.20	2026	2	0.04	3682	1	0.02	4466	1	0.04	4005	1
入谷 3 丁目	2.97	1517	2	0.12	2840	2	0.02	4316	1	0.07	3580	1
入谷 4 丁目	2.88	1576	2	0.09	3055	1	0.04	4061	1	0.11	3233	1
入谷 5 丁目	1.42	3093	1	0.02	4063	1	0.02	4348	1	0.03	4108	1
入谷 6 丁目	0.22	4791	1	0.00	4987	1	0.00	4772	1	0.00	4767	1
入谷 7 丁目	1.68	2675	2	0.03	3868	1	0.02	4319	1	0.04	4008	1
入谷 8 丁目	1.82	2479	2	0.04	3647	1	0.04	3960	1	0.07	3553	1
入谷 9 丁目	1.82	2481	2	0.02	4029	1	0.03	4271	1	0.05	3921	1
伊興 1 丁目	7.10	481	3	0.57	1434	2	0.12	2164	2	0.93	603	3
伊興 2 丁目	3.99	1102	3	0.10	2928	1	0.08	2980	1	0.35	1629	2
伊興 3 丁目	4.98	847	3	0.21	2310	2	0.16	1434	2	0.81	690	3
伊興 4 丁目	6.02	633	3	0.48	1579	2	0.14	1793	2	0.89	619	3
伊興 5 丁目	4.80	884	3	0.12	2850	1	0.12	2122	2	0.60	955	3
西伊興 1 丁目	6.83	507	3	0.09	3080	1	0.05	3835	1	0.32	1732	2
西伊興 2 丁目	8.70	303	4	0.10	2930	1	0.07	3371	1	0.59	973	3
西伊興 3 丁目	7.10	482	3	0.06	3381	1	0.05	3646	1	0.39	1457	2
西伊興 4 丁目	5.27	778	3	0.48	1586	2	0.08	3169	1	0.44	1314	2
西竹の塚 1 丁目	2.41	1872	2	0.10	2993	1	0.11	2367	2	0.28	1907	2
西竹の塚 2 丁目	5.60	713	3	0.93	1024	3	0.12	2231	2	0.77	735	3
東伊興 1 丁目	6.02	631	3	0.48	1581	2	0.04	3911	1	0.28	1933	2
東伊興 2 丁目	7.26	456	3	0.60	1390	2	0.04	4062	1	0.28	1921	2
東伊興 3 丁目	4.73	894	3	0.37	1771	2	0.06	3465	1	0.32	1716	2
東伊興 4 丁目	4.20	1035	3	0.12	2799	2	0.08	3159	1	0.33	1687	2
古千谷本町 1 丁目	5.23	786	3	0.38	1756	2	0.04	4000	1	0.21	2303	2
古千谷本町 2 丁目	5.35	765	3	0.71	1254	2	0.04	4068	1	0.21	2308	2
古千谷本町 3 丁目	8.14	365	4	0.98	987	3	0.06	3602	1	0.52	1120	3
古千谷本町 4 丁目	7.53	428	3	0.57	1435	2	0.05	3740	1	0.41	1397	2
舎人公園	0.03	5124	1	0.00	5042	1	0.12	2215	2	0.00	4698	1
伊興本町 1 丁目	5.83	667	3	0.28	2029	2	0.10	2543	2	0.64	893	3
伊興本町 2 丁目	5.08	824	3	0.27	2045	2	0.09	2792	2	0.50	1158	3

(注) 総合危険度は、建物倒壊危険度及び火災危険度に災害時活動困難度を加味し、測定している。

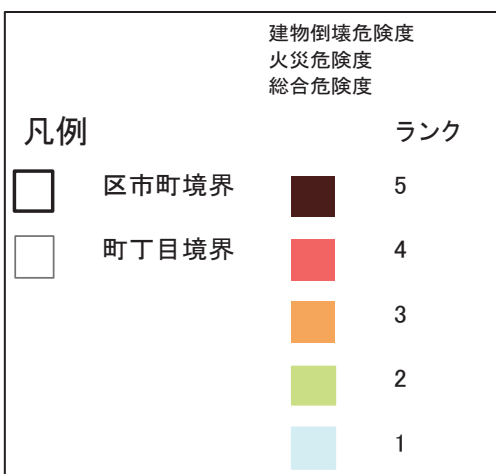
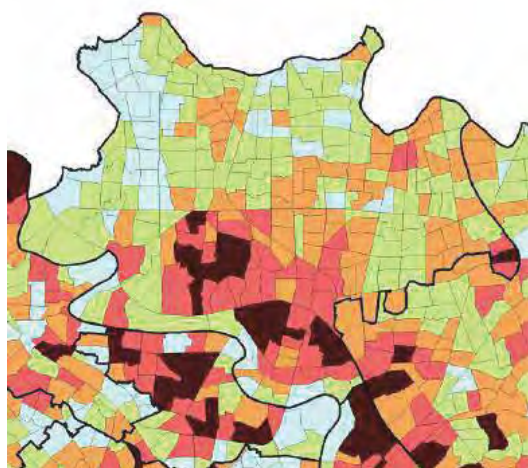
①建物倒壊危険度



②火災危険度



③総合危険度



第2 気象庁震度階級関連解説表

平成21年3月

使用にあたっての留意事項

- (1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- (2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- (3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- (4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに	極めて少ない。めったにない。
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

●人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度 階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

● 木造建物（住宅）の状況

震度 階級	木造建物（住宅）	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

（注 1） 木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいもののほど高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

（注 2） この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

（注 3） 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

● 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度 階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

（注 1） 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいもののほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

（注 2） 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

● 地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5 弱	亀裂 ^{※1} や液状化 ^{※2} が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5 強		
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある ^{※3} 。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

● ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることもある [※] 。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある [※] 。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。 そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

● 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長い、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらないうつかり、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。